

宮永岳彦記念美術館だより

2018 11 月



発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室

市民ギャラリーのご案内

入場無料

宮永岳彦
**グラフィック
デザイン展**
2018年 5月23日(水) - 11月25日(日)

鶴巻デジタル写真教室 第9回鶴巻デジタル写真教室 写真展

11月6日(火)～11月11日(日)
10:00～17:00 (初日13:00から、最終日16:00まで)
その時々、の被写体の表情を楽しんで写しとったものです。ぜひ楽しんで見て下さい。

佐藤庄市 油彩・水彩画展

11月14日(水)～11月18日(日)
10:30～17:00 (最終日16:00まで)
ネパールや日本では信州などの風景を描いた油彩・水彩・パステル画を展示します。

日本画府写真部 日府展写真部展

11月20日(火)～11月24日(土)
10:00～17:00 (初日13:00から 最終日16:00まで)
写真に魅せられ「一期一会の出会い」を求めて幾年月。数少ない出会いを精一杯切り取った作品です。

村上郁夫 京洛四季彩(都のすがた留めおかまし)

11月28日(水)～12月2日(日)
10:00～18:00 (初日15:00から 最終日14:00まで)
日本画(一部水彩画):40点前後。十年近く懐かしい京都の四季折々の情景を描き続けました。集大成展です。

◆◆◆ 展示作品より今月の一点 ◆◆◆

《秦野市第31回秦野たばこ祭ポスター 原画》



秦野市最大のお祭り「たばこ祭」は、1948(昭和23)年の開始以来、市のシンボリックなイベントとして親しまれています。もともとはたばこ耕作者の慰労のために始められましたが、第10回の1957(昭和32)年に主催者が市を主体とする実行委員会となり、全市民が楽しめる祭典へと様変わりしました。同時に、市外からも人を呼び込むために、ポスター制作を依頼したのが、

市内に住む、既に画家として著名だった宮永でした。その後、宮永は秦野から転居しても長年ポスター制作に携わり、たばこ音頭を踊る踊り子をメインにした様々なバリエーションのポスターを生み出しました。どの作品も色彩や構図に宮永らしい大胆さやモダンさがあふれ、祭典と市の成長に華を添えました。本展では、宮永が手掛けたたばこ祭、丹沢まつりのポスター原画を3点展示しています。印刷物では分からない筆跡などを間近で見られる機会です。是非会場でご覧ください。

原画 1978年 73.5×52.5cm

◆ 観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

・市民ギャラリーの予約について・
2019年4月以降の市民ギャラリーの予約は、統一地方選挙の日程が未定のため、受付開始を延期しております。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。受付開始日は、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。

・美術館 臨時休館のお知らせ・
2018年12月3日(月)～2019年1月11日(金) 上記期間、美術館内改修のため臨時休館いたします。常設展の観覧及び市民ギャラリーのご利用がいただけません。なお、その間のお問い合わせは、秦野市役所生涯学習文化振興課(TEL:84-2792)へお願いいたします。

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

デザイン × 浅草
宮永と浅草寺の付き合いは、1957(昭和32)年の浅草寺本堂落慶記念行事からでした。当時の浅草は、戦前の賑わいを取り戻そうと一生懸命で、売れっ子デザイナーだった宮永の力を借りたといわれています。宮永はその縁で浅草寺の豆まきや除夜の鐘によく訪れ、節分の豆まき役を務めたことも。本展では宮永による浅草のれん会のカレンダーも展示しています。

《浅草寺五重塔再建ポスター》 1973年



11月の休館日：5日(月) 12日(月) 19日(月) 26日(月)